

TruPhase の導入(20)  
—11.2MHzDSD 音源の音質確認(2)—

1. はじめに

前報(19)に引き続き、11.2MHzDSD 音源を聴いてみます。

2. TruPhase の試聴方法

これまでの経過を踏まえ、P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

音源は fidata HFAS1-S10 に収納し、USB 経由で Brooklyn DAC+ に送り出します。

fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+→→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

音源は、e-onkyo music からダウンロードしたものから選択します。

モーツアルト 弦楽五重奏曲ト短調

Koike Strings

e-onkyo music

ショパン他 ピアノソナタ第3番ト短調他

藤田真央

ナクソスジャパン・e-onkyo music

デュフリ他 三美神他

大木和音

e-onkyo music

3. TruPhase の試聴結果

e-onkyo music からのダウンロード 3 音源は、最近の DSD 録音なので Brooklyn DAC+ の設定を正相にして再生しました。

モーツアルトの弦楽五重奏曲は、切れ味がよく、ディテールの再現がよくなされています。

藤田真央演奏のピアノソナタ集は、リスト、モーツアルト、シューマン、ショパンなどの曲ごとの表情とフレージングなど、演奏技法がよく分かります。

大木和音演奏のチェンバロ曲集は、チェンバロの透明感あふれる音色が際立っています。

す。

#### 4. まとめ

fidata 収納の 11.2MHzDSD 音源の再生において、それぞれの持ち味が発揮されました。位相の把握も十分に可能でした。

以上